

各部門の課題・参加規定

(1) アナウンス部門

- ① 自校のニュースや解説など、高校生活を語る若者の声を内容とし、原稿は自作したものに限る。
 ② エントリー番号・氏名を含め、1分10秒以上、1分30秒以内でアナウンスする。
 *学校名は読まず、エントリー番号に続けて、発表者の氏名を読む。

③ 審査基準

- A) 校内放送に使用できる内容であること
 B) 審査の視点

◆内容

- (ア)素材の選び方は適当であるか。
 (イ)文章表現は適当であるか。

◆アナウンスの技術

- (ア)自然な発声で、ニュースが聞き手に伝わるようにアナウンスしているか。
 ・発声 ・発音 ・マイクの使い方
 (イ)意味を正しく伝える抑揚表現ができているか。
 ・内容把握 ・プロミネンス ・アクセント ・イントネーション
 (ウ)間(ポーズ)は適切か。
 ・テンポ ・ポーズ
 (エ)歌い上げ・作り声など、不自然なアナウンスは高く評価しない。

- C) 100点法で総合的に採点する。

(2) 朗読部門

- ① 次の指定課題4作品から1作品を選び、朗読する。作品の脚色は一切認めない。

作品番号	1	2	3	4
書名	銀河鉄道の夜	先生のお庭番	あの空の下で	老人と海
著者名 (訳者名)	宮沢賢治	朝井まかて	吉田修一	ヘミングウェイ/著 高見浩/翻訳
出版社	新潮文庫	徳間文庫	集英社文庫	新潮文庫

- ② エントリー番号・氏名・作者名・作品名を含め、1分30秒以上、2分00秒以内で朗読する。
 *学校名は読まず、エントリー番号に続けて、発表者の氏名・作者名・作品名を読む。

*電子書籍は不可とする。

*作品番号1は、平成24年以降発行のものに限る。

*作品番号1・3は、選定した収録作品のタイトル(短編名)を作品名として読むこと。

*作品番号4は、新潮文庫 StarClassics 名作新訳コレクション 2020年新訳版。他の出版社・翻訳者のものは不可とする。訳者名は読まないこと。

*抽出は文頭から開始し、文末で終了すること。一文途中での開始や終了は「変更したもの」とみなす。本文中の()内は省略してはいけない。

③ 審査基準

- A) 審査の視点

◆内容

- (ア)作品の選定は適当であるか。
 (イ)朗読として適切な部分を抽出しているか。

◆朗読の技術

- (ア)自然な発声で、場面や心情が聞き手に伝わるように朗読しているか。
 ・発声 ・発音 ・マイクの使い方
 (イ)意味を正しく伝える抑揚表現ができているか。
 ・内容把握 ・プロミネンス ・アクセント ・イントネーション

(ウ)間(ポーズ)は適切か。

・テンポ ・ポーズ

(エ) ドラマ調・演劇調・一人芝居調など、過度に演出されているものは高く評価しない。

B) 100点法で総合的に採点する。

(3) アナウンス部門・朗読部門に共通する事項

- ① 規定の用紙(様式1-1、1-2)を使用し、袋とじ(仕上りA5判)とする。第1頁を表紙とし、本文は第2頁以降に記入する。表紙の部門名上部の○を指定の色で塗りつぶす。アナウンスは「青」、朗読は「赤」とする。

(4) ラジオ番組部門

- ① 作品は、6分30秒以上、7分00秒以内とする。
- ② 作品の最後に「制作は〇〇高校放送部(委員会)でした」とクレジットコールを入れる。
- ③ クレジットコールには、BGM・SEなど他の音声が重なってはいけない。
- ④ 計時は、最初の音からクレジットコールの終わりまでとする。
- ⑤ 作品のメディア(媒体)・データ形式・作成方法は、以下のとおりとする。
 - A) CD-RにCD-Audio形式で作成する。
 - B) トラックは1つのみとする。
- ⑥ 番組進行表の表紙上部の○枠は「赤」で塗りつぶす。
- ⑦ **審査用CD-R 1枚・再生用CD-R 1枚・バックアップ用CD-R 1枚**を作成し、それぞれに規定の情報(様式2)を記載する。作品はそれぞれ別のケースに入れ、規定のラベル(様式2)を貼って大会受付時に提出する。ただし、作品・番組進行表は返却しない。

(5) テレビ番組部門

- ① 作品は、7分30秒以上、8分00秒以内とする。
- ② アスペクト比は、16:9(ワイド)とする。
- ③ テレビ局等の第三者が撮影した素材を主とする作品は、失格とする。
- ④ 作品の前後5秒間に、規定(様式3)のテストパターンを入れる。テストパターンは、大会ホームページよりダウンロードして使用する。
- ⑤ 作品は、再生ボタンで再生が始まるようにする。メニューを入れない。
- ⑥ 計時は、テストパターン(カラーバー)を除いた本編部分について行う。
- ⑦ 作品のメディア(媒体)・録画方法・データ形式・作成方法は、以下のBD-RもしくはDVD-Rのいずれかとなる。
 - A) ハイビジョン形式…BD-R(BDAV形式・MPEG-2またはMPEG-4 AVC/H.264)とする。
 - ・BD-Rは、必ずクローズ(ファイナライズ)処理を行い、追記できないディスクにする。
 - B) SD形式…DVD-R(DVD-Video形式)とする。
 - ・家庭用HDレコーダーでDVD-Videoを作成した場合は、必ずクローズ(ファイナライズ)処理を行い、汎用のDVD再生機で再生できる状態にする。
- ⑧ 作品提出の際、データの互換性に留意し、作成した機器だけでなく、市販のプレイヤー等複数の機器で再生できることを確認の上、提出する。
- ⑨ 番組進行表の表紙上部の○枠は「青」で塗りつぶす。
- ⑩ **審査用メディア 1枚・再生用メディア 1枚・バックアップ用メディア 1枚**を作成し、それぞれに規定の情報(様式2)を記載する。作品はそれぞれ別のケースに入れ、規定のラベル(様式2)を貼って大会受付時に提出する。ただし、作品と番組進行表は返却しない。

(6) ラジオ番組部門・テレビ番組部門に共通する事項

- ① 高校生活に素材を求めた作品、あるいは高校生活と地域社会とのかかわりを考えた作品で、高校生の視点で描いた独創的な作品であり、それぞれのメディアの特性を生かした作品とする。ドラマ調の場合、出演者は自校生徒、かつ「**参加資格**」の条件を全て満たす者のみに限る。
- ② 審査基準
 - A) 校内放送に使用できる内容であること
 - B) 審査の視点

◆テーマ（伝えたい内容）

高校生ならではの視点で、高校生を取り巻く環境の中からテーマを設定し、それを番組の中で効果的に表現しているか。

◆制作技術

- | | | |
|-----------|-------------|---------------|
| (ア)メディア選択 | (イ)制作方法 | (ウ)取材の方法や努力 |
| (エ)企画・構成 | (オ)演出・編集 | (カ)音声や効果音の使い方 |
| (キ)内容伝達力 | (ク)番組進行表の作成 | |

C) 100点法で総合的に採点する。

- ③ 作品のタイトルは、副題も含めて15文字以内を厳守する。
* 作品名が英数字のみの場合は、半角文字で最大30文字（スペース含む）までとする。
- ④ 番組進行表は、後述の「**様式規定**」で作成する。
1頁（様式4-1）学校名・作品名・時間・制作意図（200字程度）・スタッフ／キャスト（学年）
2頁（様式4-2）必要枚数を綴じ合わせたCUEシート
3頁（様式4-3）使用著作物一覧
* 必要に応じ、音源使用許諾（様式4-4）・取材許諾・著作物提供許諾（様式4-5）を添付する。
* 必要に応じ、著作権処理確認資料（右上に著作物番号を朱書きする）を添付する。
- ⑤ 作品のメディア本体にはラベルを貼らず、以下の項目をディスク自体に直接記載（プリンタによる直接印字／ペンによる手書き）する。
①部門名 ②エン트리番号 ③県名 ④学校名 ⑥作品名 ⑦メディアの種類
⑧用途（審査用・再生用・バックアップのいずれか）
- ⑥ 作品の中で用いる音楽・絵画・写真等の著作権を伴う著作物については、著作権・著作隣接権の処理を本大会開始までに確実に済ませておく。特に音楽は、自作自演もしくは著作権フリーの楽曲を用いることが望ましい。著作権を伴う著作物については、一覧を番組進行表の末尾に添付する。
- ⑦ いわゆる著作権フリーの音源素材等であっても、インターネット上のものを利用することは厳禁とする。なお、著作権フリー素材とインターネット上の素材の使用については、「校内放送研究 第68回 NHK 杯全国高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会（以下、NHK 杯とする）要項」の **p.17** で定めたものと同じとする。
- ⑧ JASRAC への手続きと支払いは出場校が行い、関係書類のコピーを番組進行表の末尾に添付する
- ⑨ 参加作品の著作権は、制作者（応募した学校）に帰属する。
- ⑩ その他の詳細に関しては、NHK 杯要項の **p.17**～の注意事項に準じる。様式等については、本大会規定のものを使用する。